

漁海況月報

令和6年1月31日

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

1 海況

○ 黒潮流路

1月30日の人工衛星画像によると、黒潮は御前崎沖北緯30度付近から石廊崎沖北緯34度付近を通過するA型流路となっている。

○ 渥美外海の状況

現在、渥美外海沖合の表層には、黒潮系の暖水が東から波及している影響で高水温の水塊が広く分布している。

○ 予想

現在、流路変動に影響する黒潮流量の指標となるトカラ海峡（名瀬一西之表）の潮位差は非常に高い水準で推移している。一方、潮岬沖の冷水渦が発達しているため、大蛇行流路は今後も継続すると推測される。黒潮の最南下位置からの北上部は、2月上旬まで御前崎～石廊崎沖を通ると考えられる。

(参考：潮位データを用いた黒潮モニタリング；<https://ovd.aori.u-tokyo.ac.jp/tides/time2.html>)

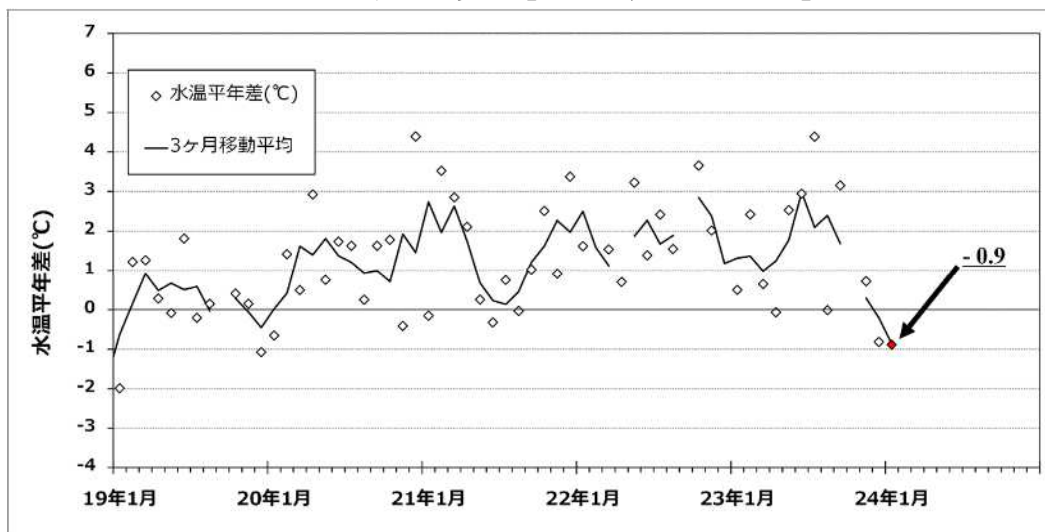
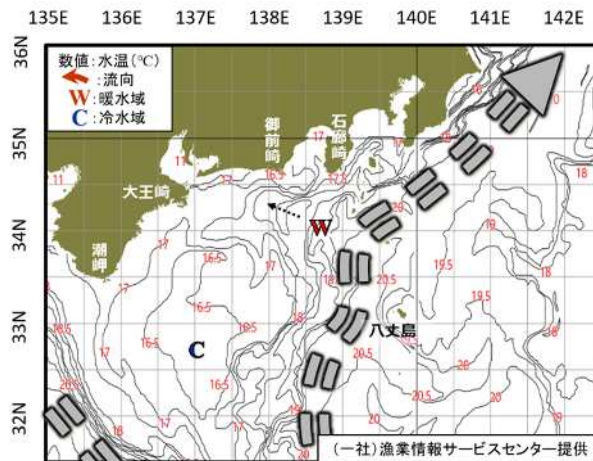


図2 沖合域の水温年差 (A4点、A12点、A19点の水深200mの平均)

※過去10年間の平均偏差

2 イワシ類 ～ 2023年のまとめ～

(1) シラス

2023年の年間漁獲量(3,956トン)は不漁であった2022年(3,232トン)を上回ったが、平年(6,403トン)を下回った(表4)。これは、春シラス(外海)及び夏秋シラス(内湾)の漁獲量が低迷したためである。一方で、漁業者は2023年も春季内湾禁漁と操業開始の後ろ倒し(ぱっち網)により親魚を保護し、必要な産卵水準は確保できている(伊勢湾内のカタクチイワシ卵採集数・2023年12,435個、平年6,579個。特に6~9月が多かった(表3))。

春シラスの不漁の原因は、2022年と同様に、マシラス来遊量が極めて少なかったことと、黒潮流路に起因した遠州灘沿岸の強い東向きの流れにより漁場形成が阻害されたことが考えられる(図3)。夏秋シラスは2022年以降、卵は豊富にあるが伊勢湾内に漁場が形成されにくい状況が続いているが、2023年は小規模ながら8月中旬以降継続して形成された。また、11月以降は、連続した加入がみられ、CPUEが高く維持された(図4)。

シラスの生残率の検討のため、ボンゴネット調査で採集した仔魚の大きさを比較すると、2022年は漁獲があった湾口部を除き、平年(2016~2021年計)に比べ大型個体は少なく、漁獲サイズに至るまでの生き残りが悪かったことが示唆されたが、2023年は、湾奥は2022年以上で平年並み、湾央は2022年以上で平年以下、湾口部は2022年及び平年を上回る大きさであった(図5)。伊勢湾内の生残状況が2022年よりも向上したため、内湾で漁場が形成される頻度が高くなったと推察された。

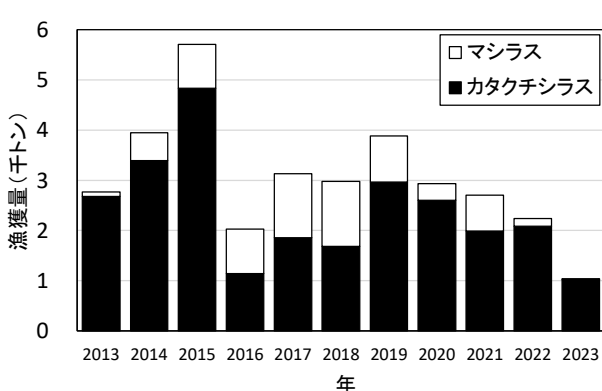


図3 3~6月のシラス漁獲量

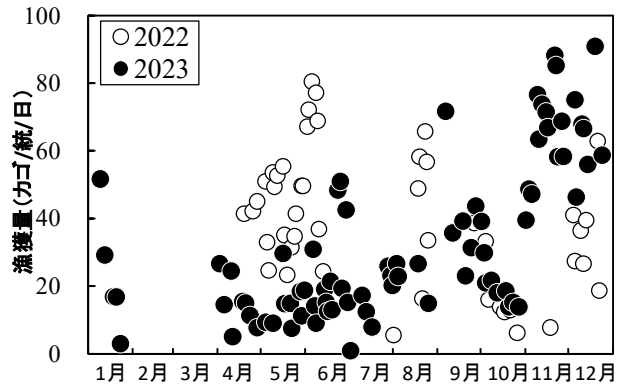


図4 しらす操業船のCPUE

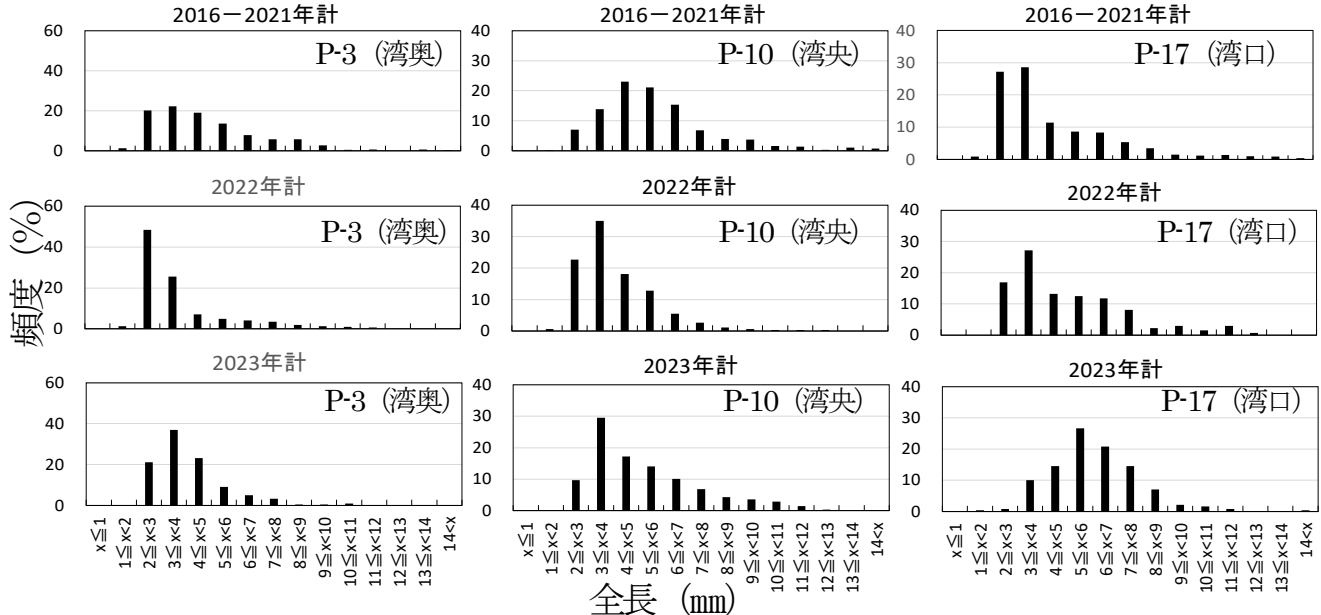


図5 カタクチシラス体長組成

(2) マイワシ

ぱっち網の操業は7月24日から始まり、2023年の年間漁獲量(4,308トン)は平年(11,846トン)を下回った(表6)。中型まき網の出漁はなかった。

今期の春季のマシラス漁獲量(21トン)から、マイワシの推定漁獲量(1,400トン)が少なく予測されたため、ぱっち網漁業者は、魚体の大型化の取組を昨年よりも強化し、例年大きいマイワシが漁獲される三河湾を9月3日(2022年は8月22日)まで自主禁漁とした(図7)。その結果、三河湾の解禁直後のCPUE(38トン/統/日)は年間で最高で、体長は過去の同時期に比べても最大級となった(図8)。来遊尾数が少ないため長続きせず、1ヵ月後の10月4日には0.3トン/統/日まで減少し、その後は1トン未満の混獲程度の水準が続いた(図6)。なお、最終的な漁獲量(4,308トン)は推定漁獲量(1,400トン)を上回った。これは、2023年のマイワシ漁場が三河湾口から三河湾南部の非常に限られた場所に形成され、集中的に漁獲したため、例年に比べて効率的に漁獲ができたこと等が考えられる。

カタボシイワシは2023年もまとまって漁獲された。2022年はマイワシに混じって漁獲されたため単価を下げたが、2023年は漁獲月が重ならず、養殖用餌料として取引された(表1)。卵・稚仔調査では、8月に外海及び内湾で卵、仔魚が採集され、8~10月のシラス漁でも混獲(重量比1~3%)されており、遠州灘付近で再生産が行われている可能性がある。

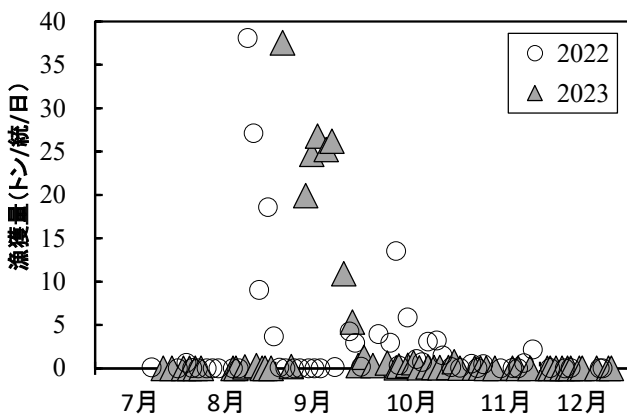


図6 マイワシのCPUE

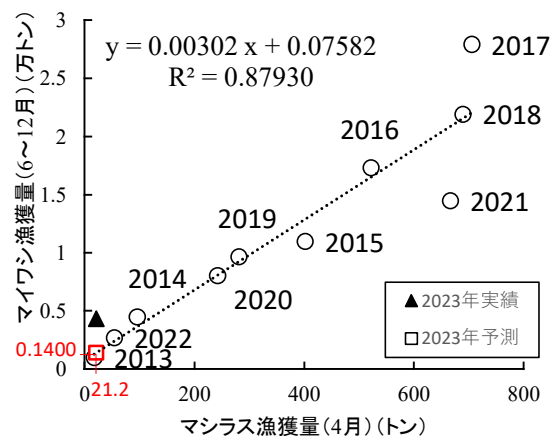


図7 マイワシ漁獲量(6~12月)の予測と実績

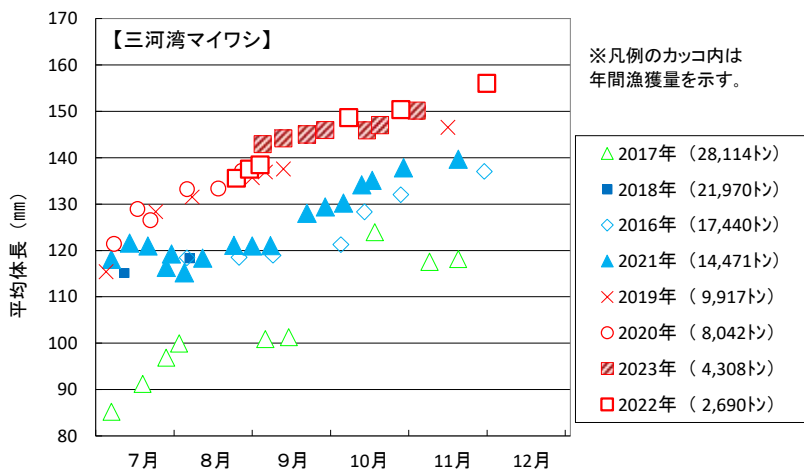


図8 マイワシの体長組成(三河湾)

表1 カタボシイワシの漁獲量

	9月	10月	11月	12月	(トン) 合計
2022年	241	100	0	0	341
2023年	0	15	308	30	352

※御崎、豊浜市場の水揚げデータより(水試調べ)

(3) カタクチイワシ

2023年の年間漁獲量(8,949トン)は平年(13,723トン)を下回った(表5)。

操業開始直後から伊勢湾で10~27トン/続日で比較的大型の個体がまとまって漁獲され、9月はマイワシ狙いのため混獲程度で、10月以降は10トン/続日を上回ることなく低調が続いた(図9)。

漁獲されたカタクチイワシを、体長範囲で月齢別に分け、尾数に換算した結果を図10に示した。冬生まれは7~10月、春生まれは8~12月、夏生まれは10~12月、秋生まれは12月に確認された。漁獲尾数は8月が最も多く、体長8~10cmの冬生まれが多かった。10月以降は夏生まれの割合が高く、ぱち網が操業開始を6月から7月24日に遅らせることで保護された親魚から生まれた子もこの中に含まれていると考えられる。2023年の漁獲量が少なかったのは、例年ほど夏生まれのシラスの生き残りが良くなかったためと考えられる。

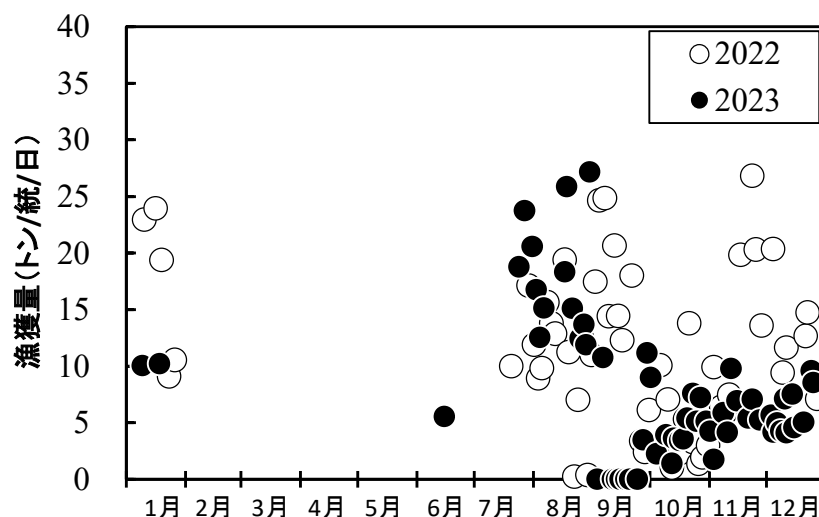


図9 カタクチイワシ CPUE

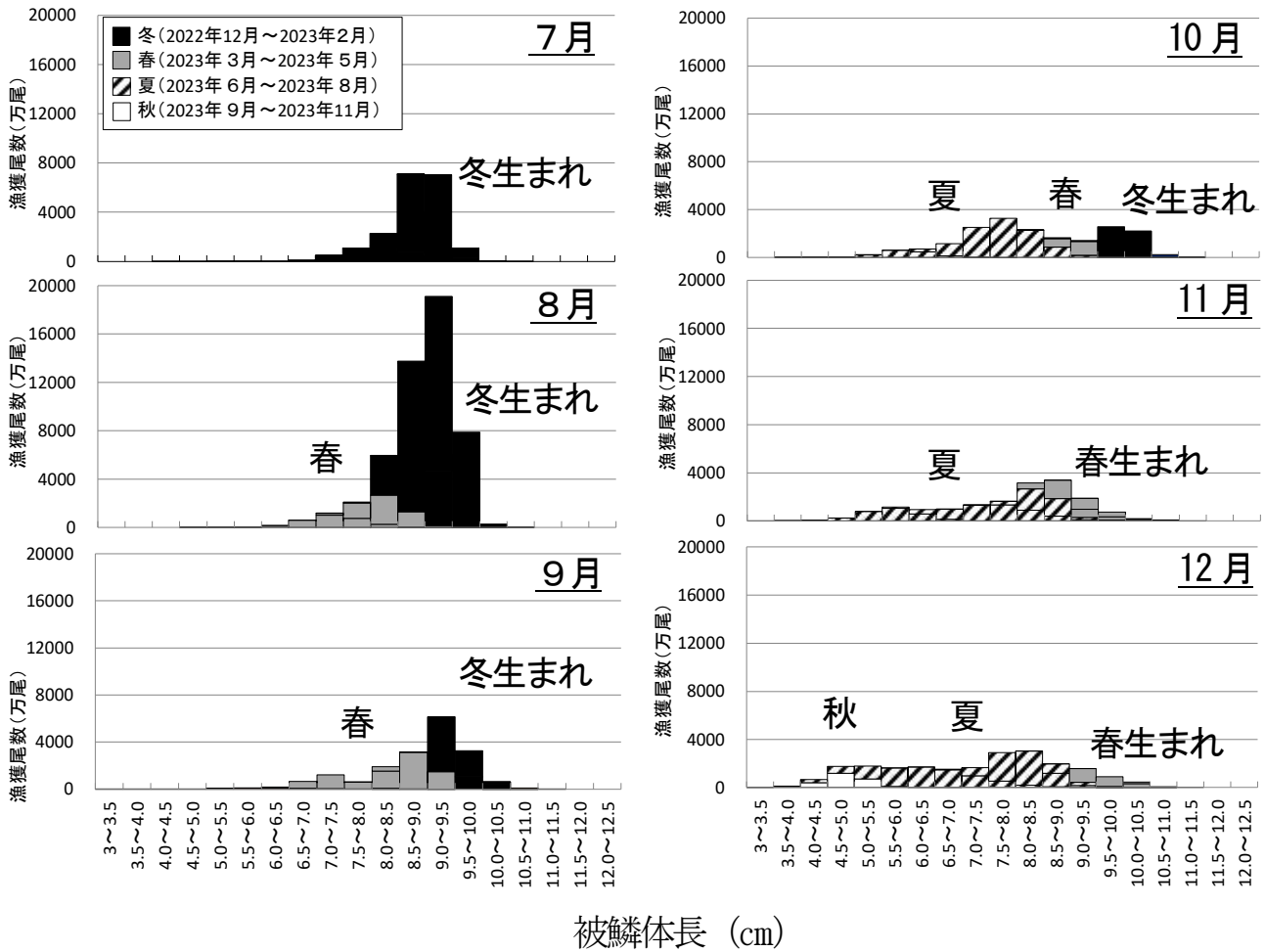


図10 カタクチイワシの発生群別漁獲尾数

3 イカナゴ

2023年は6、10月に空釣り調査を行ったが、イカナゴは採集されなかった。ボンゴネットによる仔魚調査を2023年12月25日、2024年1月11日に湾口部で行ったが採集されなかった。

次回は、カイトネットによる稚魚調査（2月）を実施予定。

表2 渥美外海のカタクチイワシ卵採集数(15点合計) ※2022年9月の調査定点は3定点。(単位:個)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2016	0	0	0	50	27	24	93	10	2	1	0	0	207
2017	欠測	0	2	208	14	147	178	11	4	0	0	0	564
2018	0	0	72	102	25	144	154	0	欠測	0	0	0	497
2019	0	0	62	39	57	29	97	58	54	0	0	0	396
2020	0	0	0	1	0	116	30	89	11	13	3	0	263
2021	0	0	24	46	25	186	88	25	17	0	0	0	411
2022	0	欠測	23	1	203	212	247	351	5	0	0	0	1,042
2023	0	0	0	1	3	82	130	12	89	欠測	5	0	322
10年平均	0	0	112	164	98	138	120	69	39	22	1	1	760

表3 伊勢湾のカタクチイワシ卵採集数(15点合計) (単位:個)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2016	-	-	-	0	1,329	1,236	748	1,508	132	248	108	-	5,309
2017	-	-	-	0	17	29	215	494	2	1	1	-	759
2018	-	-	-	0	438	65	360	70	欠測	41	62	-	1,036
2019	-	-	-	0	70	2,518	2,593	627	52	37	118	-	6,015
2020	-	-	-	506	6,126	4,561	1,442	4,698	735	211	6	-	18,285
2021	-	-	-	2,985	1,227	2,258	1,765	2,607	746	212	25	-	11,825
2022	-	-	-	559	1,624	756	2,522	2,575	435	462	336	-	9,269
2023	-	-	-	0	132	3,256	2,004	5,798	1,216	欠測	29	-	12,435
10年平均	-	-	-	406	1,155	1,304	1,517	1,541	347	167	176	-	6,579

表4 愛知県シラス類漁獲量 (単位:トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2016	11	0	94	1,210	691	33	628	136	134	1,683	1,871	636	7,127
2017	5	0	0	885	2,247	0	11	38	31	172	85	104	3,579
2018	0	0	97	957	1,917	9	66	379	553	797	295	660	5,730
2019	0	7	389	676	1,472	1,349	884	1,119	1,514	45	9	302	7,767
2020	0	10	219	428	658	1,629	590	1,933	131	493	148	492	6,731
2021	0	2	101	1,295	631	676	392	48	1,098	1,397	743	317	6,700
2022	0	1	3	253	1,150	831	9	407	82	158	4	335	3,232
2023	145	0	10	194	243	595	169	135	335	245	1,239	646	3,956
10年平均	2	2	91	800	1,652	689	289	541	563	747	599	429	6,403

表5 愛知県カタクチイワシ漁獲量 (単位:トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2016	85	0	14	0	851	5,944	6,352	1,705	2,481	351	504	1,146	19,434
2017	15	21	62	23	194	3,039	2,659	1,725	1,038	340	583	346	10,045
2018	0.3	7	0	12	33	2,795	1,654	945	1,294	149	13	40	6,943
2019	172	38	32	2	0	1,339	4,128	1,692	1,432	2,564	803	515	12,717
2020	4	35	27	0	0	0	2,698	2,115	1,620	2,924	1,920	2,117	13,462
2021	302	48	0	0	0	0	691	1,062	719	766	1,674	1,593	6,853
2022	505	0	0	0	0	0	532	2,453	3,462	1,118	1,055	1,044	10,169
2023	81	0	0	0	0	13	1,501	3,691	574	1,310	895	883	8,949
10年平均	176	37	14	82	215	1,895	3,323	2,377	2,063	1,270	1,260	1,011	13,723

表6 愛知県マイワシ漁獲量 (単位:トン)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
2016	74	0	0	0	44	551	1,255	5,255	4,216	3,994	1,379	672	17,440
2017	0	0	0	0	181	1,380	6,258	5,153	4,497	5,445	3,311	1,888	28,114
2018	61	0	0	0	0	2,605	5,555	4,999	4,701	2,944	1,103	2	21,970
2019	210	40	4	0	0	1,311	2,634	3,886	1,417	152	256	7	9,917
2020	0	0	0	0	0	0	3,502	1,995	2,351	174	15	5	8,042
2021	0	0	0	0	0	0	6,128	4,125	3,476	703	35	5	14,471
2022	0	0	0	0	0	0	2	1,666	179	791	52	0.15	2,690
2023	0	0	0	0	0	0	0	10	4,195	86	18	0	4,308
10年平均	42	12	0	0	23	596	2,672	3,130	2,487	1,751	799	333	11,846